

発掘ニュース

第 13 号

昭和 61 年 8 月 11 日

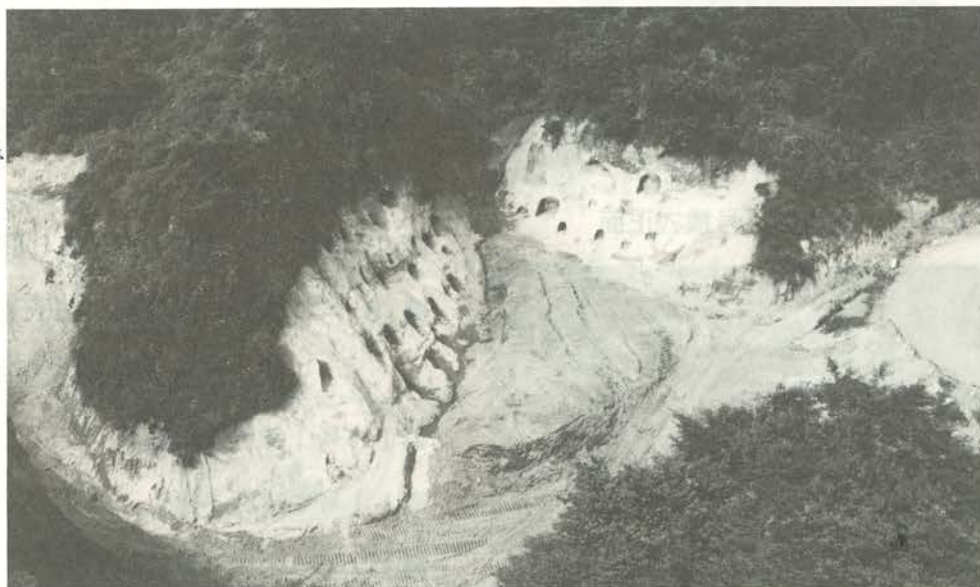
発行 財団法人 いわき市教育文化事業団

こ さ る だ 小 申 田 横 穴 群

— 古墳時代の横穴の調査 —

小申田横穴群は、いわき市小川町上平字小申田地内にあって、昭和61年7月10日に小川地内の道路改良工事中に発見されたものです。

発見された時には横穴が2基見え、そのうち1基には、人骨、直刀が玄室内で確認されました。発掘調査は、7月16日より1ヶ月の予定で始まり、現在までに南傾斜面に27基、西傾斜面に15基の合計42基の横穴が検出されています。横穴とは、古墳時代後期に高塚古墳と共に用いられたお墓です。火葬が出現する平安時代初期まで残ります。岩肌にあけ、遺体を埋葬しました。特にいわき市内では、多数の副葬品が横穴より出土しています。



第1図 南西から見た小申田横穴群の状況



第2図 南横穴群の調査状況



第3図 西横穴群



第4図 南第22号横穴正面



第5図 南第18号遺物出土状況

南横穴群について

整然とした配置をもち、下段の横穴はすべて羽子板状に近い無袖形のもので、中段の横穴はすべてが両袖形となっています。上段の横穴は下段と同じく無袖形のものが集中しています。

横穴のほとんどは、基盤が軟弱な砂岩であるため崩落がはげしく、完全な形状を残している横穴は数多くありません。

人骨は、多数の横穴から検出されていますが、とくに第3号、第10号のものは保存状態も良好です。一箇所に集められているものも多数あります。

現在までの主な出土遺物は、次のとおりです。

第3号：ガラス製小玉130個

第8号：ナツメ玉2個、切子玉1個、ガラス製小玉3個

第10号：鐺付きの直刀

第11号：直刀一振

第17号：木炭（墓前祭）

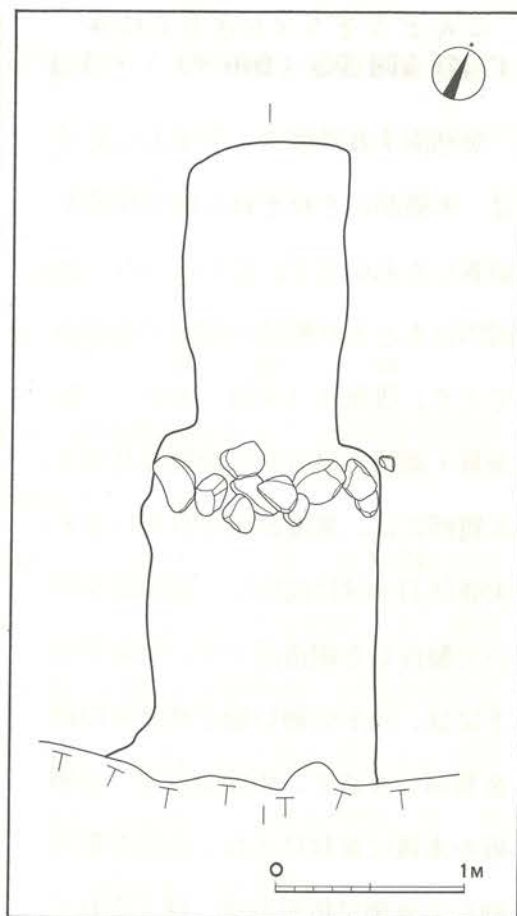
第18号：直刀2振、鐸2個、金銅装（飾り）弓、釧2個、勾玉2個、切子玉12個、ナツメ玉1個、ガラス製丸玉1個、須恵器大甕片、貝片

第20号：直刀一振、土師器杯

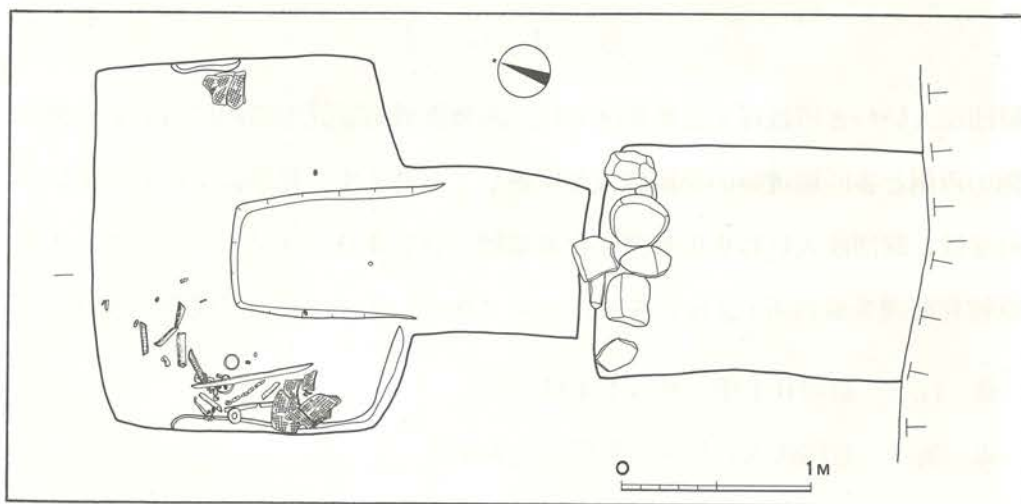
第22号：土師器杯片、須恵器片

西横穴群について

南横穴群と同じく3段に横穴が構築されています。西横穴群は、崩落のためいずれも玄室の一部と奥壁しか残っていません。出土遺物は、第2号、第7号から須恵器片が出土しただけです。



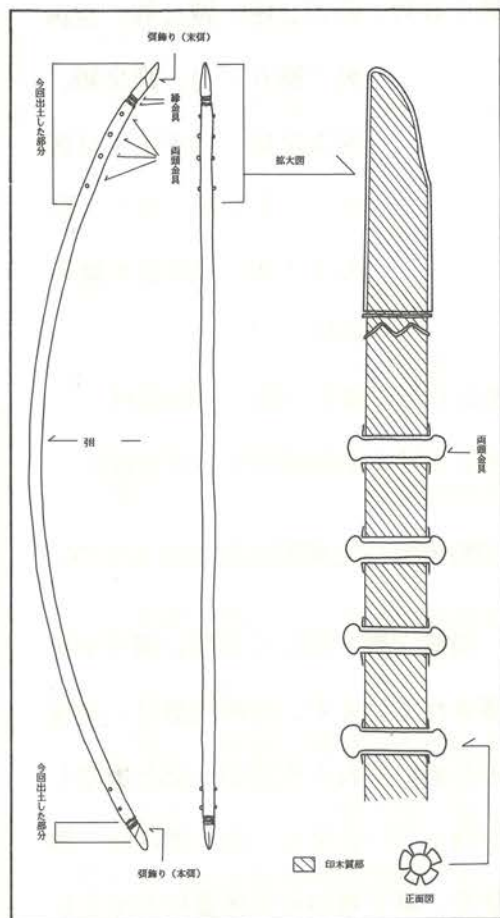
第6図 南第22号横穴平面図



第7図 南第18号横穴平面図

こんどうそう（かざり）ゆみ 「金銅装（飾り）弓」

今回南18号横穴より出土した弓は、木質部にそれぞれの飾金具等を装着したものです。このような弓は、国内はもとより朝鮮・中国でも初めてです。弭飾り（末弭・本弭）・縁金具・両頭金具は共に金銅製品です。木質部には、黒漆が塗られています。末弭は刀子状に成形し、金銅板を叩いて製作した鍛造品です。弭飾りの下には、円形の細い輪と波状紋の縁金具がつきます。両頭金具は、金銅板を木質に筒状に入れ、両端を数分割して外側に折り曲げ、挿入されています。



第8図 「金銅装（飾り）弓」 模式図

お 知 ら せ

財団法人いわき市教育文化事業団では、内郷御厩町番匠地地内において久世原館の西側と番匠地遺跡の発掘調査を実施しております。見学についての問い合わせは、財団法人いわき市教育文化事業団 0246(22)5431、久世原館発掘調査事務所(26)5384・(26)2805まで連絡下さい。

発行 昭和61年 8月11日

編集 財団法人いわき市教育文化事業団

福島県いわき市平字堂根町1番地の4 いわき市文化センター内